

岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業公開セミナー

「こうすれば上手くいく！手術患者の入退院支援」

日 時：2019年7月27日（土）13：00～15：00

場 所：岡山大学鹿田キャンパス 臨床第1講義室

講演 1	「当院における周術期管理センターの取り組み これまでとこれから」 岡山大学病院集中治療部 助教 松岡義和 先生
特別講演 1	「保健医療政策の目指す方向 ～幸福な長寿社会の実現に向けて～」 岡山県保健福祉部 参与 則安俊昭 先生
特別講演 2	「外来から始まる多職種連携による周術期管理 ー佐久医療センターにおける PFM の実際ー」 JA長野厚生連 佐久総合病院 副院長 西澤延宏 先生

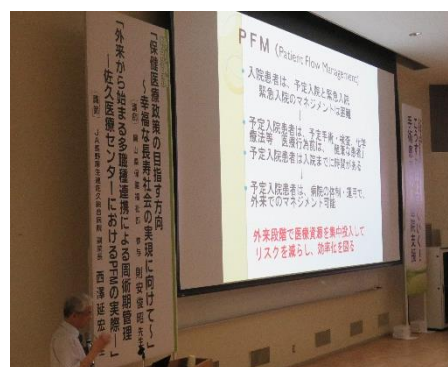


岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業公開セミナーを開催いたしました。テーマは「こうすれば上手くいく！手術患者の入退院支援」でした。

始めに、岡山大学病院集中治療部 助教 松岡義和先生より、事業概要について講演が行われました。高齢化社会が進んでいく中、手術を契機としたフレイルへの移行の予防をするため、今まで以上に地域の医療機関と協力しながら、術後 QOL を維持するという取り組みについて示しました。



次に、岡山県保健福祉部 参与 則安俊昭先生より、特別講演 1 として、団塊世代が 75 才以上となる 2025 年を目処に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していくこと、フレイルの予防についての対策、団塊ジュニア世代が高齢者となる 2040 年に向けて社会保障の持続可能性を確保すること、これらへの行政の取り組みについて述べられました。



最後に、JA長野厚生連 佐久総合病院 副院長 西澤延宏先生より、特別講演 2 として、PFM について、患者サポートセンターの導入と利点について、周術期管理の重要性について講演いただきました。患者サポートセンターで一括して PFM を行い、多職種連携による周術期管理を充実させることで、麻酔科医・外科医・看護師の負担軽減とともに、周術期管理の質、患者満足度の向上と病院運営・経営にも寄与できると述べられた。

講演後、講演いただいた講師の方との質疑応答が行われました。20 施設 98 名にご参加いただきました。

参加者内訳

参加職種	(名)
医師	9
歯科医師	6
看護師	60
薬剤師	2
歯科衛生士	5
理学療法士	5
管理栄養士	1
栄養士	1
保健師	2
その他	7
合計	98

